

琴譜
其八
終

^ 13
3024
1



琴聲美人錄

上の巻
編一

門 へ 13
3024
巻 1

へ 13
3024
1-5

昭和九年
七月二十五日
購求

琴聲

美人録

上卷

柳亭作

梅蝶樓画



泉

太

梓

一



抄言辭の字を様々嘆す是は一清社浦の散
在る吉原川のありといひ鐘波江のありも見ふきんさ
は
清兼の海客のせん水草の研と六筆を寄る述懐
抄の作は
あるは席地春西貝の逸子の伝きやう耻をきん
かごつきん抄さきまつる筆ハ採むすうのあり
作しんと心をめく日成強ぬるべき事辨れさ
いれ手紙の年束の錦木おさる折れん下
阿辺さかさありん乃漢き水さる及て持と
り

山東菴京山



美人録

あつて
帰人

あつて
かきつ
子ガ
てんてん
はなはな

のくけ



あつて
かきつ
子ガ
てんてん
はなはな

あつて
かきつ
子ガ
てんてん
はなはな

あつて
かきつ
子ガ
てんてん
はなはな



あつて
かきつ
子ガ
てんてん
はなはな

あつて
かきつ
子ガ
てんてん
はなはな

出雲国大社
休之氏子の塚

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ
あつこ
あつこ
あつこ
あつこ
あつこ
あつこ

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに

ついでに



美人図

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

大正十一年六月十六日... 此の書は... 大正十一年六月十六日... 此の書は...

大正十一年六月十六日... 此の書は... 大正十一年六月十六日... 此の書は...



大正十一年六月十六日... 此の書は... 大正十一年六月十六日... 此の書は...



大正十一年六月十六日... 此の書は... 大正十一年六月十六日... 此の書は...



...

...

水一酌

...

...

...

...

...

...

...



...

...

春の形

...

...

...



...

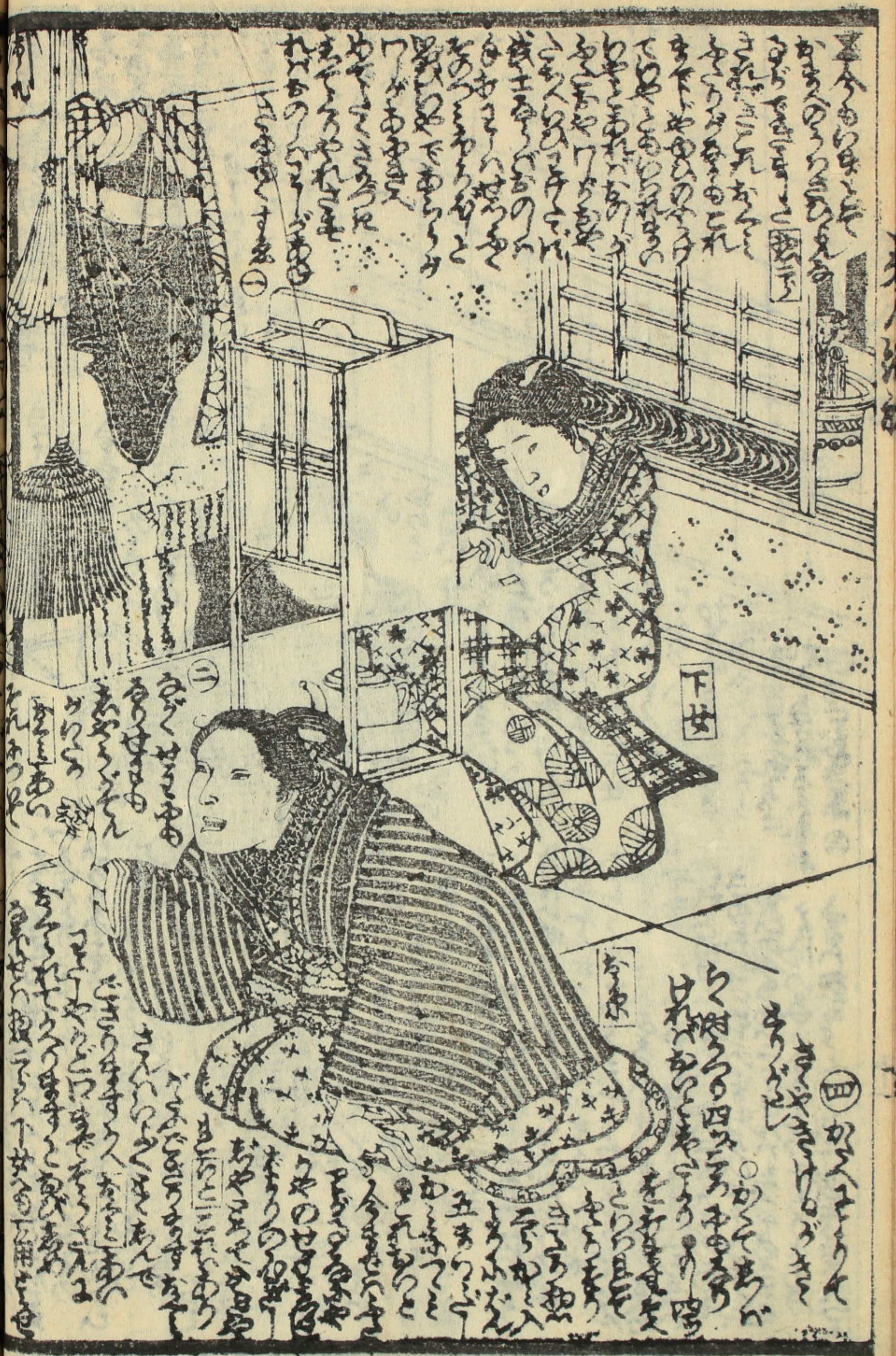
...



① おんなは...
 ② ...
 ③ ...
 ④ ...
 ⑤ ...
 ⑥ ...
 ⑦ ...
 ⑧ ...
 ⑨ ...
 ⑩ ...
 ⑪ ...
 ⑫ ...
 ⑬ ...
 ⑭ ...
 ⑮ ...
 ⑯ ...
 ⑰ ...
 ⑱ ...
 ⑲ ...
 ⑳ ...
 ㉑ ...
 ㉒ ...
 ㉓ ...
 ㉔ ...
 ㉕ ...
 ㉖ ...
 ㉗ ...
 ㉘ ...
 ㉙ ...
 ㉚ ...
 ㉛ ...
 ㉜ ...
 ㉝ ...
 ㉞ ...
 ㉟ ...
 ㊱ ...
 ㊲ ...
 ㊳ ...
 ㊴ ...
 ㊵ ...
 ㊶ ...
 ㊷ ...
 ㊸ ...
 ㊹ ...
 ㊺ ...
 ㊻ ...
 ㊼ ...
 ㊽ ...
 ㊾ ...
 ㊿ ...

おんなは...

十一

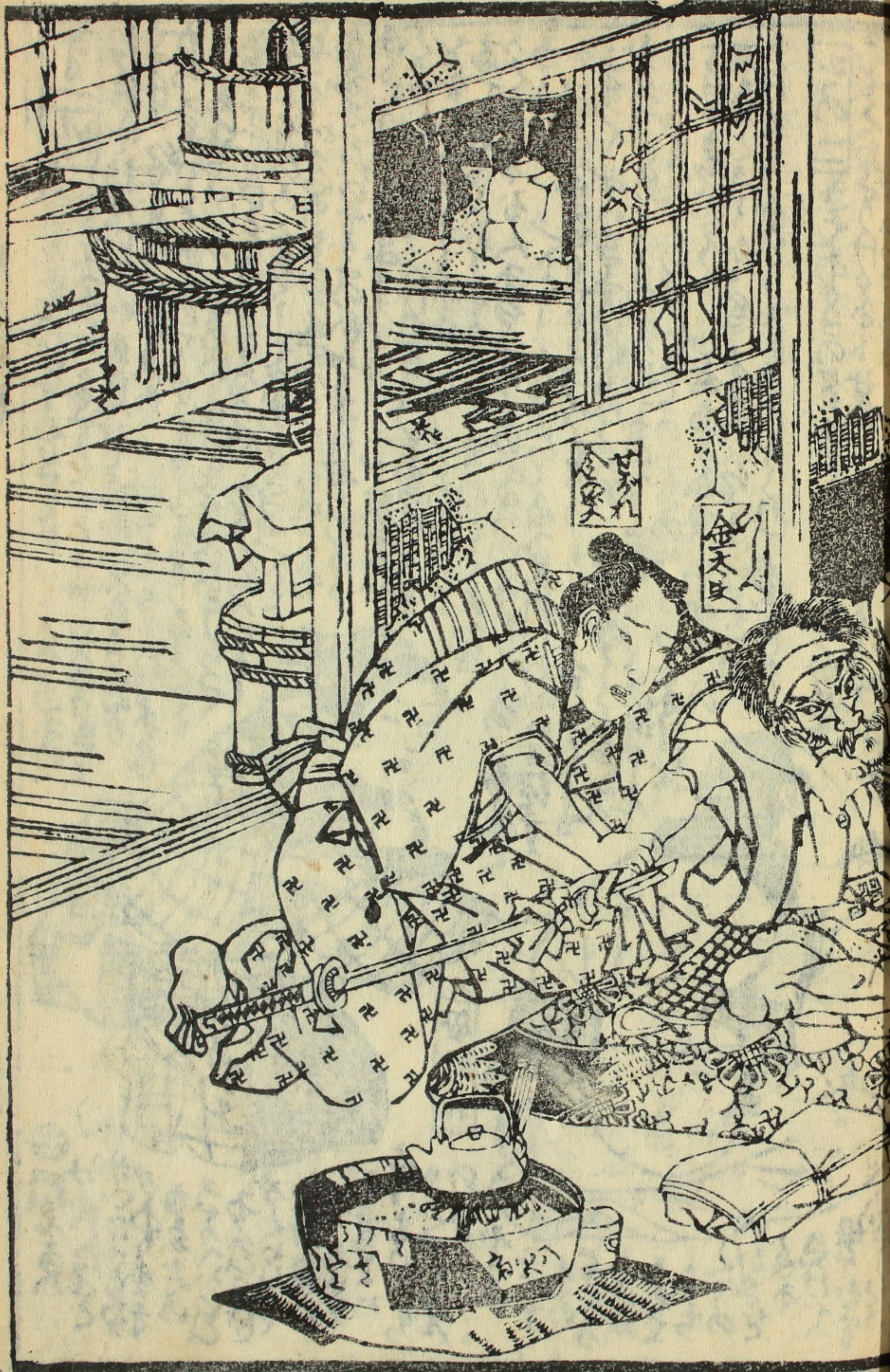


① ...
 ② ...
 ③ ...
 ④ ...
 ⑤ ...
 ⑥ ...
 ⑦ ...
 ⑧ ...
 ⑨ ...
 ⑩ ...
 ⑪ ...
 ⑫ ...
 ⑬ ...
 ⑭ ...
 ⑮ ...
 ⑯ ...
 ⑰ ...
 ⑱ ...
 ⑲ ...
 ⑳ ...
 ㉑ ...
 ㉒ ...
 ㉓ ...
 ㉔ ...
 ㉕ ...
 ㉖ ...
 ㉗ ...
 ㉘ ...
 ㉙ ...
 ㉚ ...
 ㉛ ...
 ㉜ ...
 ㉝ ...
 ㉞ ...
 ㉟ ...
 ㊱ ...
 ㊲ ...
 ㊳ ...
 ㊴ ...
 ㊵ ...
 ㊶ ...
 ㊷ ...
 ㊸ ...
 ㊹ ...
 ㊺ ...
 ㊻ ...
 ㊼ ...
 ㊽ ...
 ㊾ ...
 ㊿ ...

① ...
 ② ...
 ③ ...
 ④ ...
 ⑤ ...
 ⑥ ...
 ⑦ ...
 ⑧ ...
 ⑨ ...
 ⑩ ...
 ⑪ ...
 ⑫ ...
 ⑬ ...
 ⑭ ...
 ⑮ ...
 ⑯ ...
 ⑰ ...
 ⑱ ...
 ⑲ ...
 ⑳ ...
 ㉑ ...
 ㉒ ...
 ㉓ ...
 ㉔ ...
 ㉕ ...
 ㉖ ...
 ㉗ ...
 ㉘ ...
 ㉙ ...
 ㉚ ...
 ㉛ ...
 ㉜ ...
 ㉝ ...
 ㉞ ...
 ㉟ ...
 ㊱ ...
 ㊲ ...
 ㊳ ...
 ㊴ ...
 ㊵ ...
 ㊶ ...
 ㊷ ...
 ㊸ ...
 ㊹ ...
 ㊺ ...
 ㊻ ...
 ㊼ ...
 ㊽ ...
 ㊾ ...
 ㊿ ...

下女

おんな



五かぶりやうづねあつちりしやんぐんやん
 の下のひしとをぬきほさてしんたんと
 るけは神のあまの目まじりたる女
 席せられひつらひ申てんてせりあま
 むれいんをまじりてんてせりあま
 くる今の刃のうへと年いせん
 五かぶりやうづねあつちりしやんぐんやん
 の下のひしとをぬきほさてしんたんと
 るけは神のあまの目まじりたる女
 席せられひつらひ申てんてせりあま
 むれいんをまじりてんてせりあま
 くる今の刃のうへと年いせん

五かぶり
 五かぶり



あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...

あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...

大八郎

二六



あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...

あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...

あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...
あつたての...

天竺の事

とある所の... (vertical text columns on the top of the right page)



右の... (vertical text columns on the top of the left page)

④ 第四回

らて... (vertical text columns on the top of the left page)



あを... (vertical text columns at the bottom of the left page)

天竺の事

④ 第四回

京山作
豊国画

工場のついでに
おかげのせい
おかげのせい
おかげのせい
おかげのせい
おかげのせい



めい
あ
あ

美人録初編下冊終

一

一日書賈喜鶴堂呼扉へ御やう放政美想示郎との
跡をあるなる字本の翻案て峯の初花と題なる刊本せ
流行たりしふいと稗史見え守あり行とある人の
とありへ作り玉れとふいふふかの両書をもみなりふ事の孟浪
とありあり遊行放僕の本もとりありあり今予が筆
やありかくみ想示郎のふいふふか松情を奉て私
情と懲一世教万一の御普と自探の松風小書さうしたまひ聲
美人録と題して去年の春の梅ふ咲せける老木のを採り
る人ありと今今年も二編を乞ふありありとあるはと
まじらみとせんふありありと青黙ふありありと文とほ
ふとせのまき乃り板とま

京山

美人録二

妻の良久



今出川の女中
後尾
想三郎
お竹



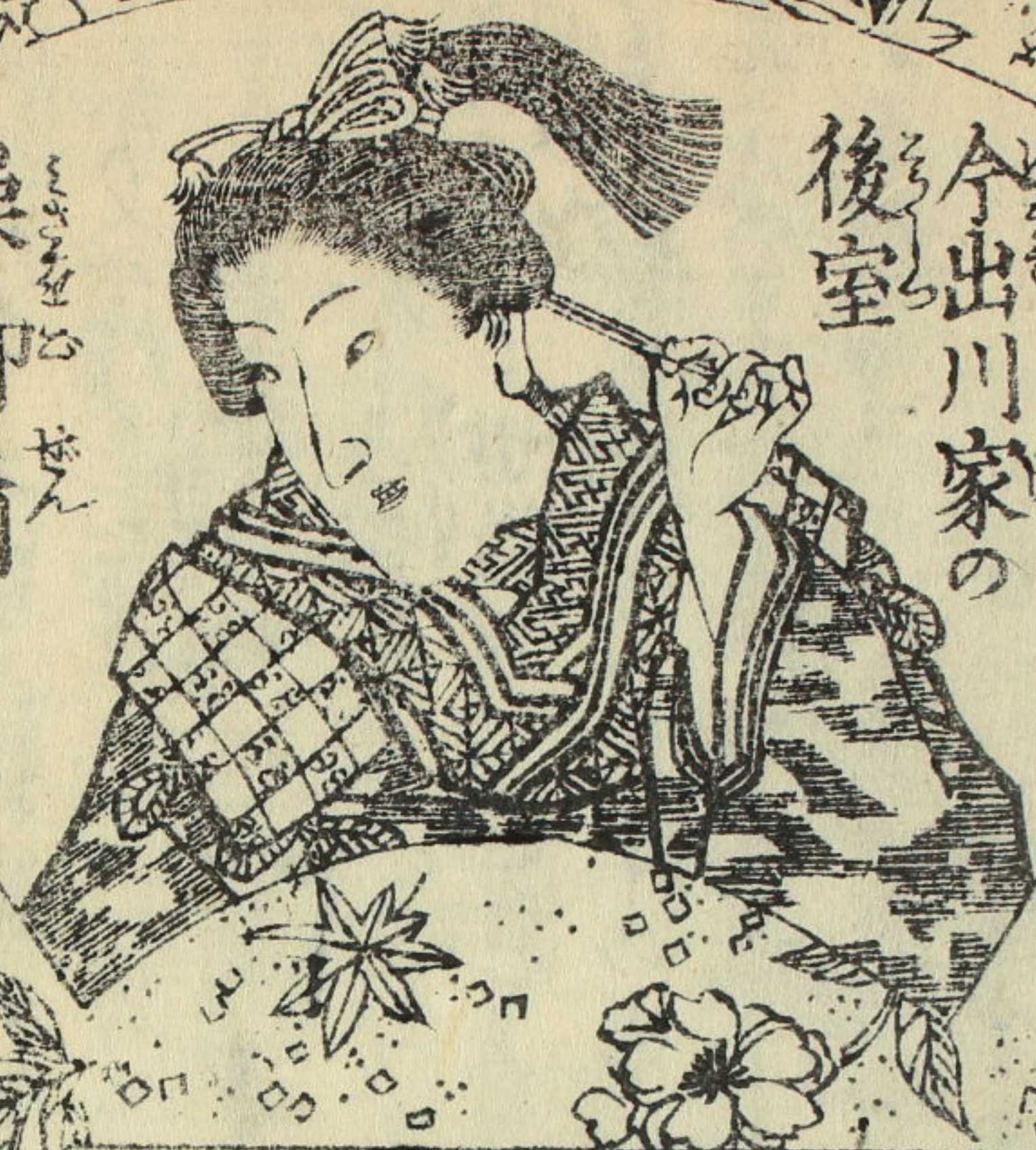
成客の朝比奈
當比奈
妻が

水髪の於楓



操御前

鎌倉扇谷
今出川家の
後室

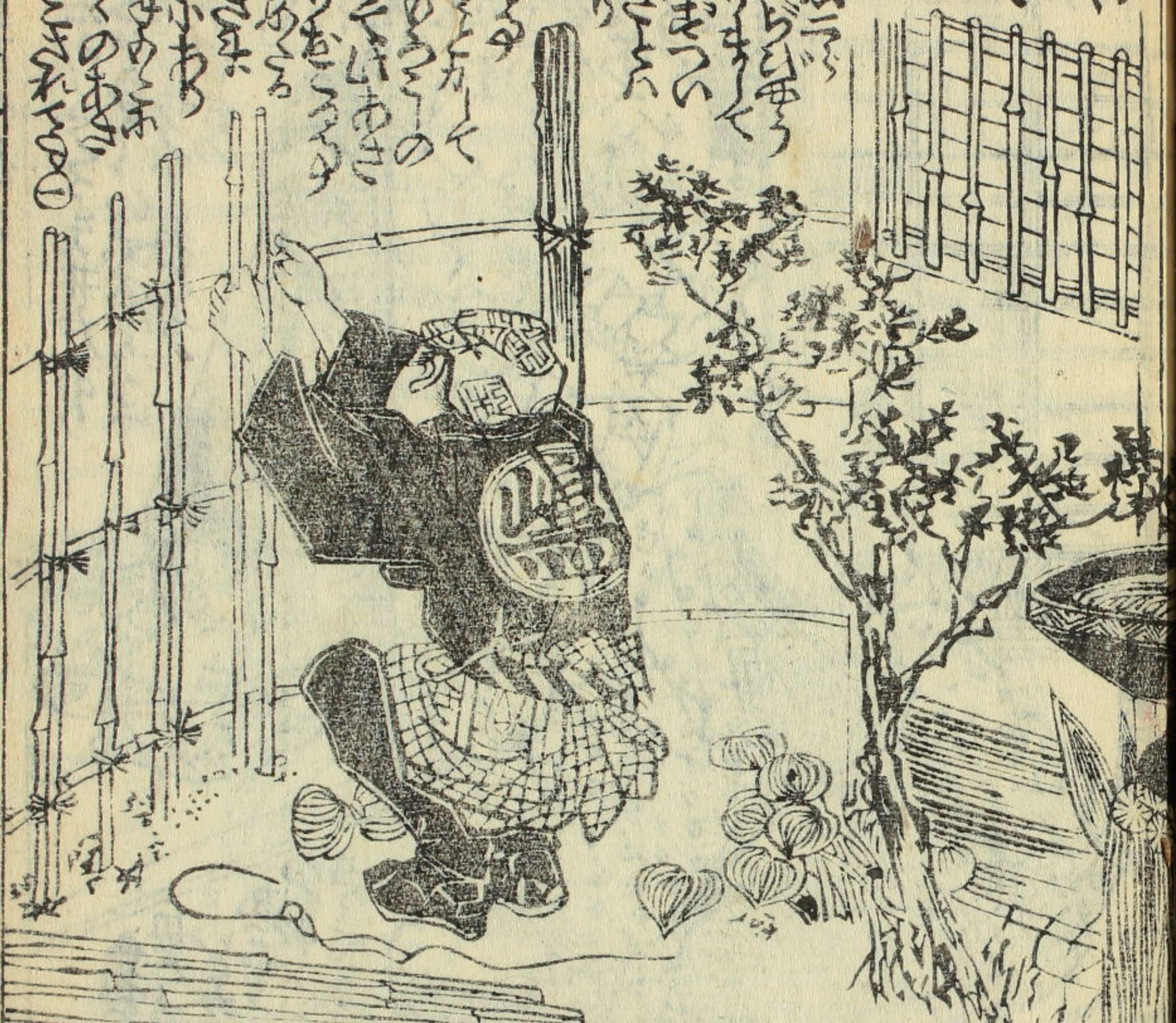


鶴龜屋
娘

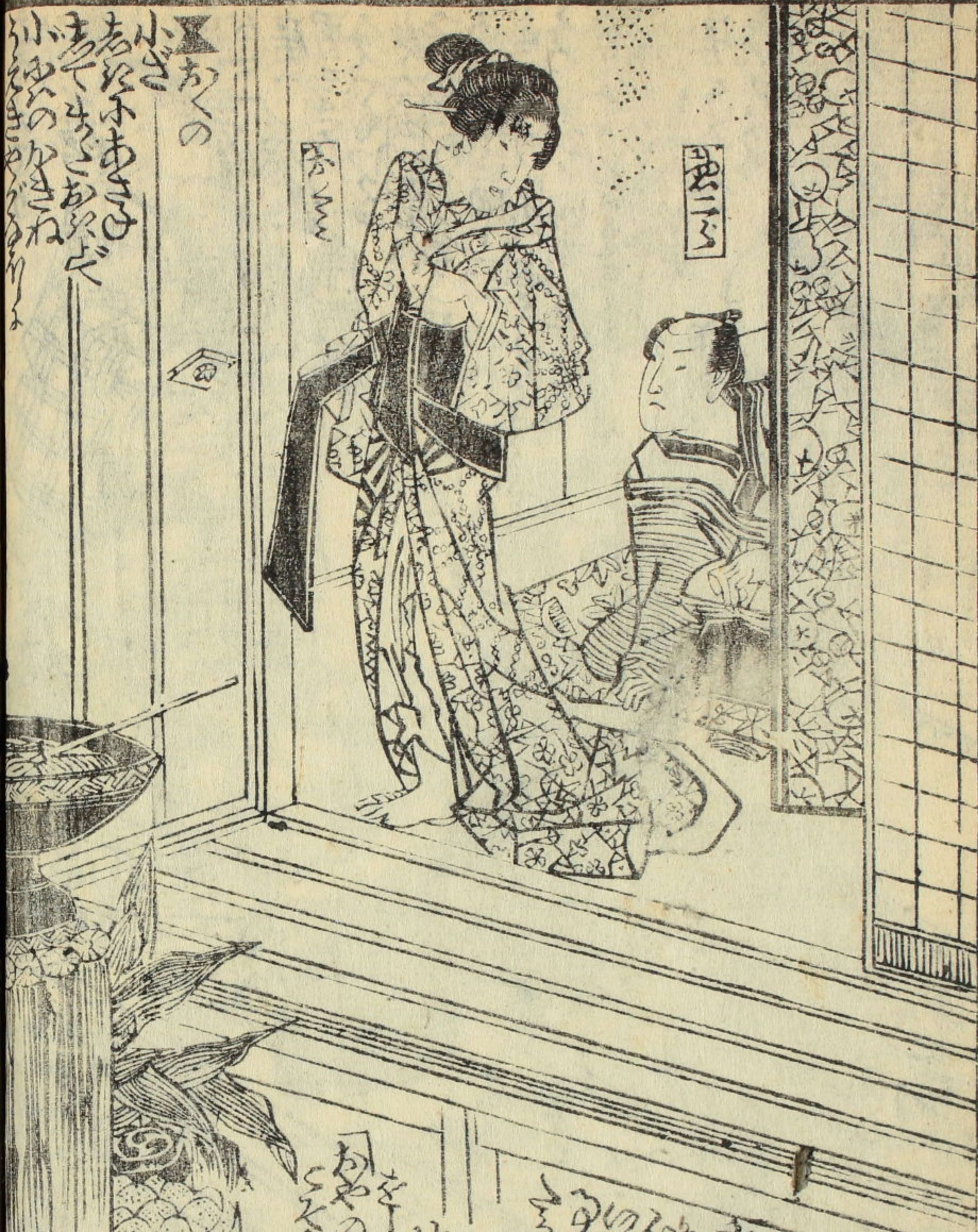
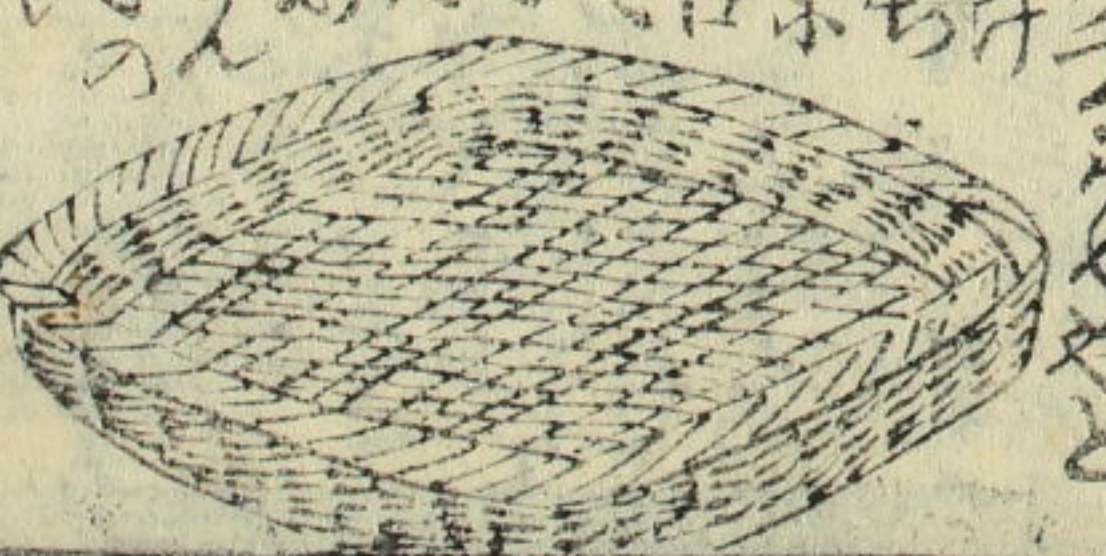
阿玖美



目撃したる
 今でいふと
 あつたの
 人のあつた
 のうに申す
 五つと申す
 舟中か
 わい
 ら
 ら
 あり
 あり
 あり



第二回
 四月廿九日
 のれんき
 右
 右
 右
 右
 右
 右



目撃したる
 今でいふと
 あつたの
 人のあつた
 のうに申す
 五つと申す
 舟中か
 わい
 ら
 ら
 あり
 あり
 あり

そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち

その二

そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち

ひつち

そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち

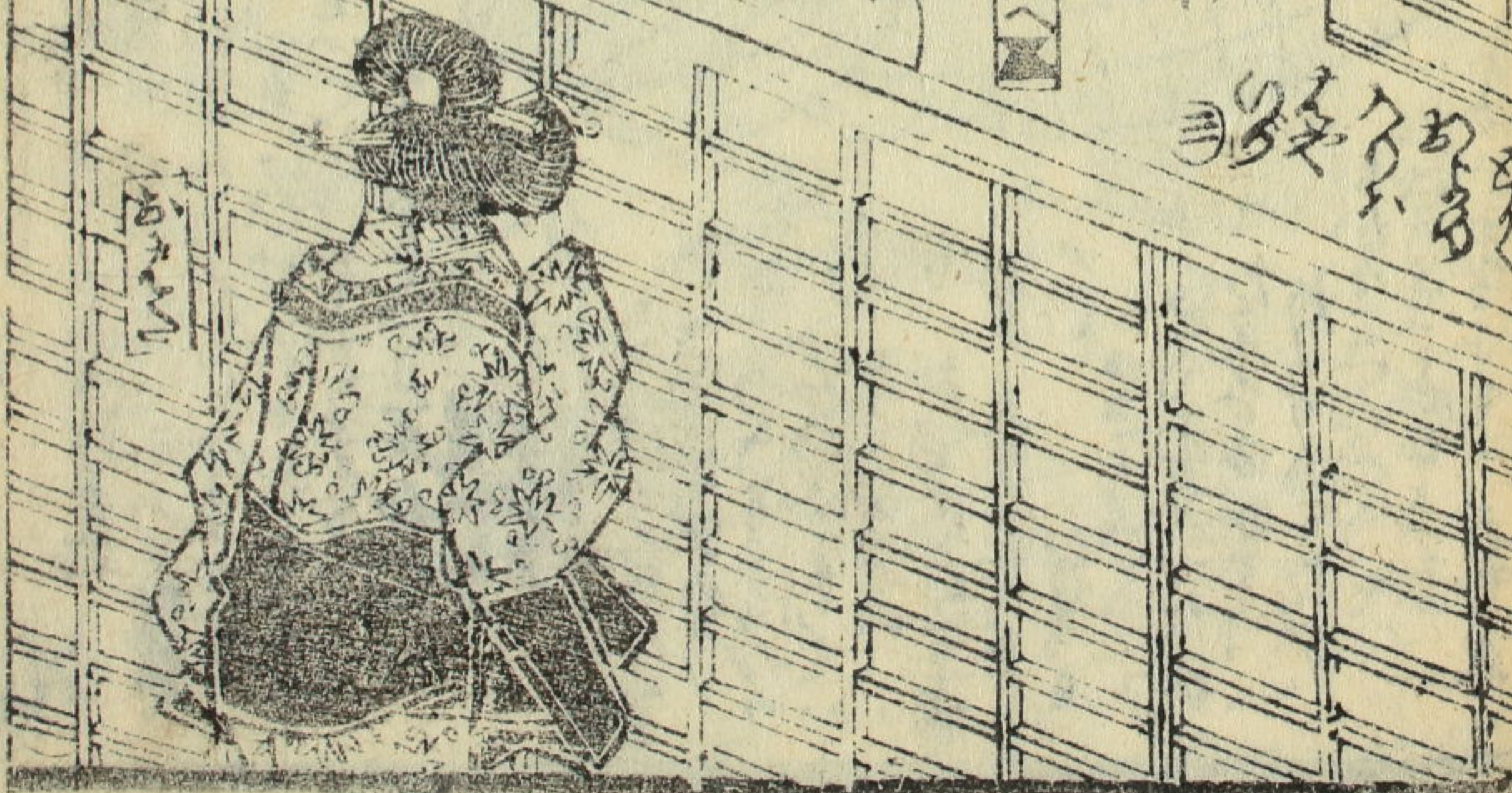


そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち

そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち



そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち



そのあつたはら
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち
 のちのちのちのち



あつちより入つて来た
 けれバひやうをた
 今おてせ
 けれバひやうをた
 だんごいかる
 きのりーこれハ
 おひるるるるるの
 さぞおちうくと
 ありしやうとく
 なるせなま
 へへへへへ
 るるるるる

ひやう太

あつちより入つて来た
 けれバひやうをた
 今おてせ
 けれバひやうをた
 だんごいかる
 きのりーこれハ
 おひるるるるの
 さぞおちうくと
 ありしやうとく
 なるせなま
 へへへへへ
 るるるるる

あつちより入つて来た
 けれバひやうをた
 今おてせ
 けれバひやうをた
 だんごいかる
 きのりーこれハ
 おひるるるるの
 さぞおちうくと
 ありしやうとく
 なるせなま
 へへへへへ
 るるるるる



あつちより入つて来た
 けれバひやうをた
 今おてせ
 けれバひやうをた
 だんごいかる
 きのりーこれハ
 おひるるるるの
 さぞおちうくと
 ありしやうとく
 なるせなま
 へへへへへ
 るるるるる

あつちより入つて来た
 けれバひやうをた
 今おてせ
 けれバひやうをた
 だんごいかる
 きのりーこれハ
 おひるるるるの
 さぞおちうくと
 ありしやうとく
 なるせなま
 へへへへへ
 るるるるる

あつちより入つて来た
 けれバひやうをた
 今おてせ
 けれバひやうをた
 だんごいかる
 きのりーこれハ
 おひるるるるの
 さぞおちうくと
 ありしやうとく
 なるせなま
 へへへへへ
 るるるるる

母の
 十の
 人の
 小の
 下を
 けさ
 石の
 下を
 けさ
 石の
 下を
 けさ

① 五五
 ② 五五
 ③ 五五
 ④ 五五

石の
 下を
 けさ

① 五五
 ② 五五
 ③ 五五
 ④ 五五



石の
 下を
 けさ

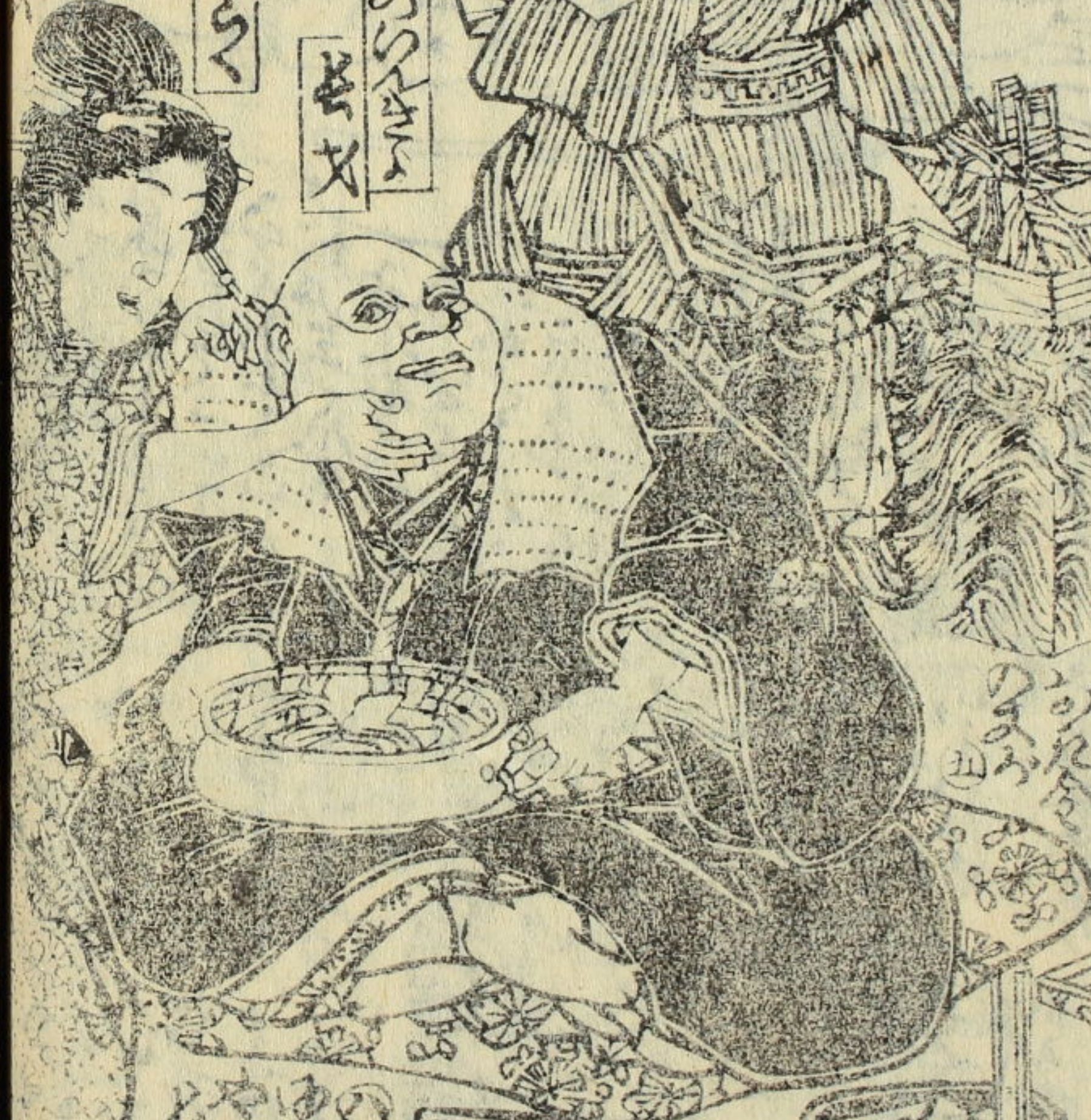
五かたはくといふはけりてびりうが
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか

その二

金太まるまるいぢやういぢやういぢやう
おのれいぢやういぢやういぢやういぢやう

あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか

あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか



あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか

中六段

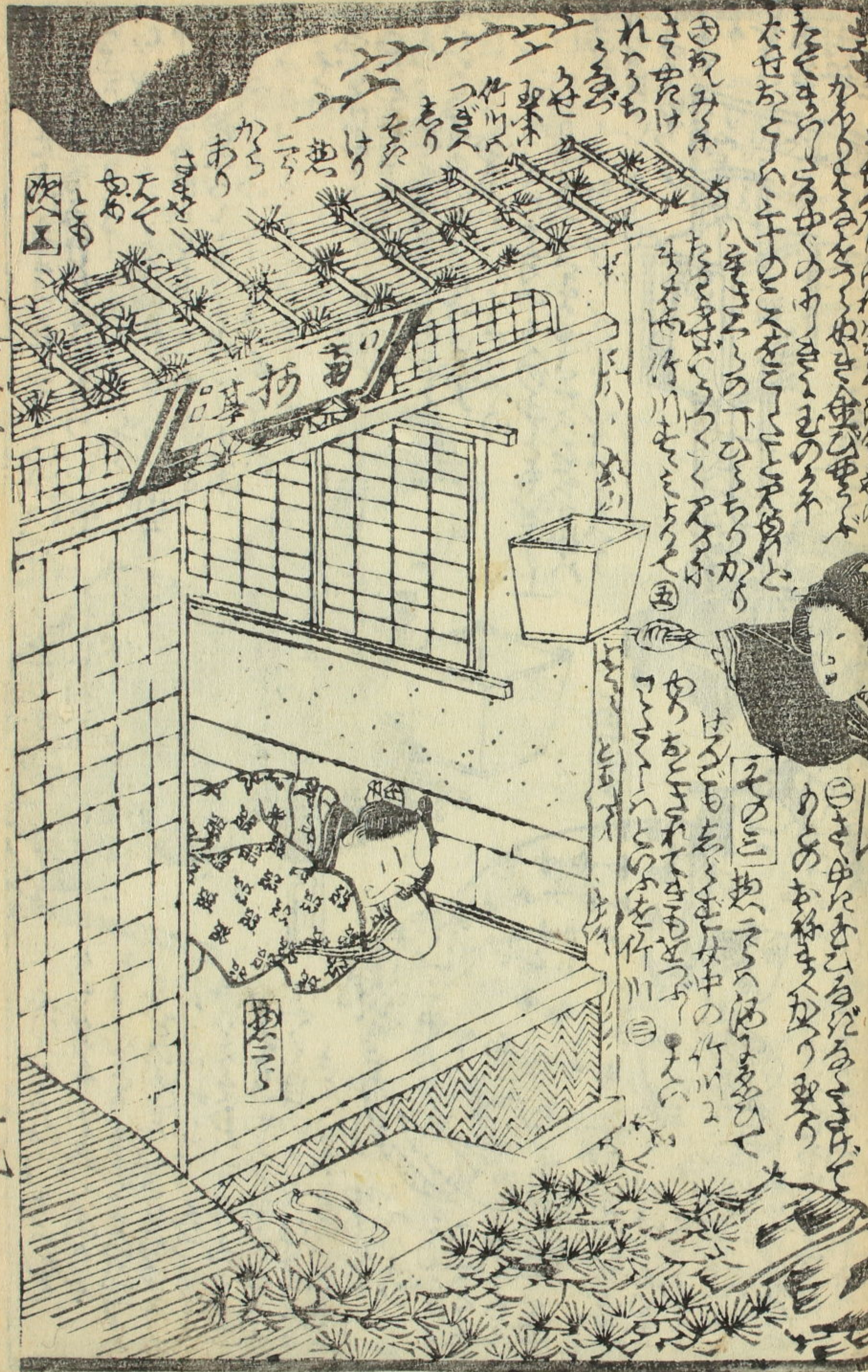
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか



あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか



あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか
あゝのりかやあゝのりかやあゝのりか



④ かくれんぼ
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご

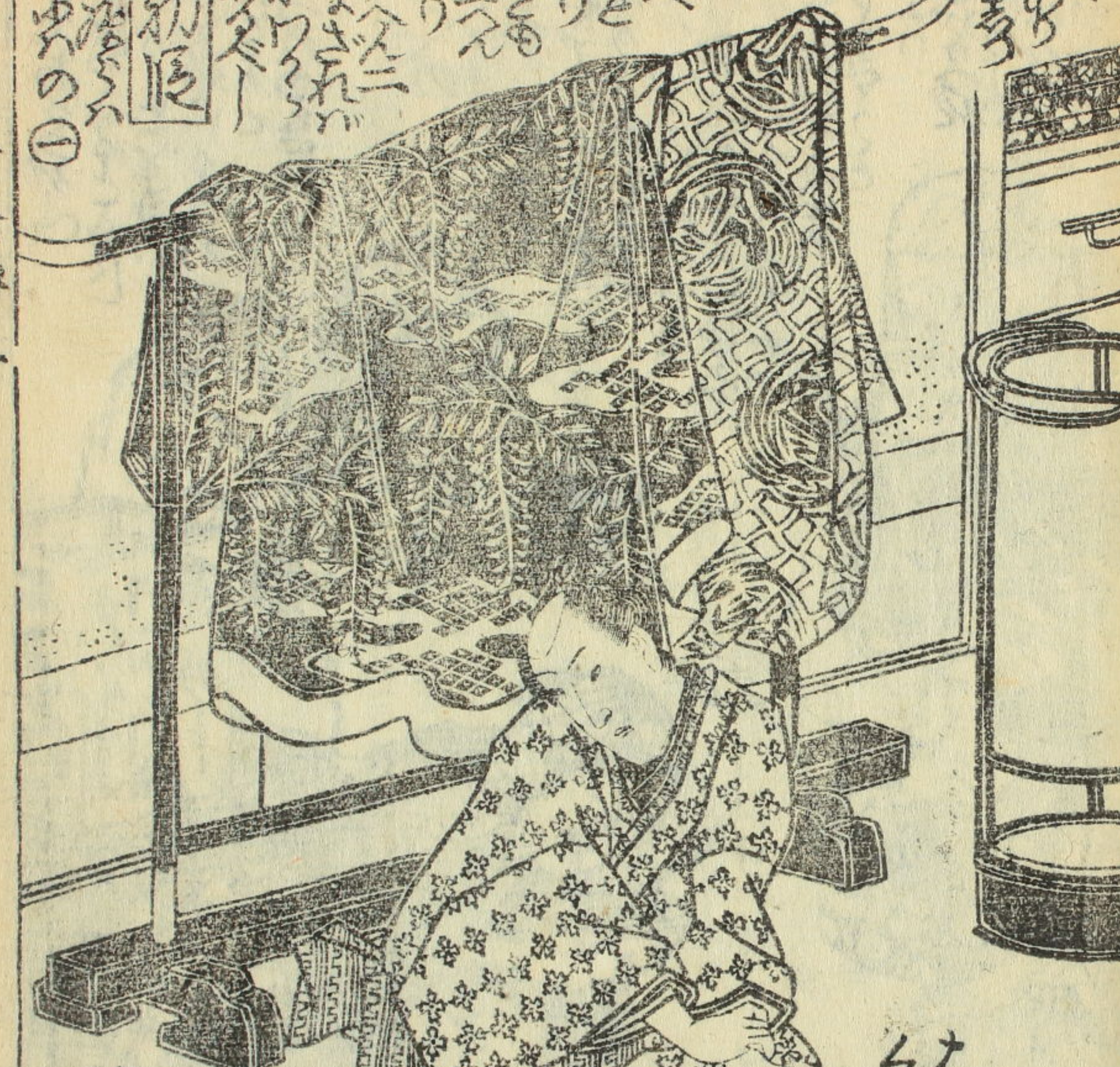
① かくれんぼ
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご



④ かくれんぼ
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご

① かくれんぼ
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご
 たまご

おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき



おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき

おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき



おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき
おののさき
あはれおのさき

下女

山のち



二の二

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

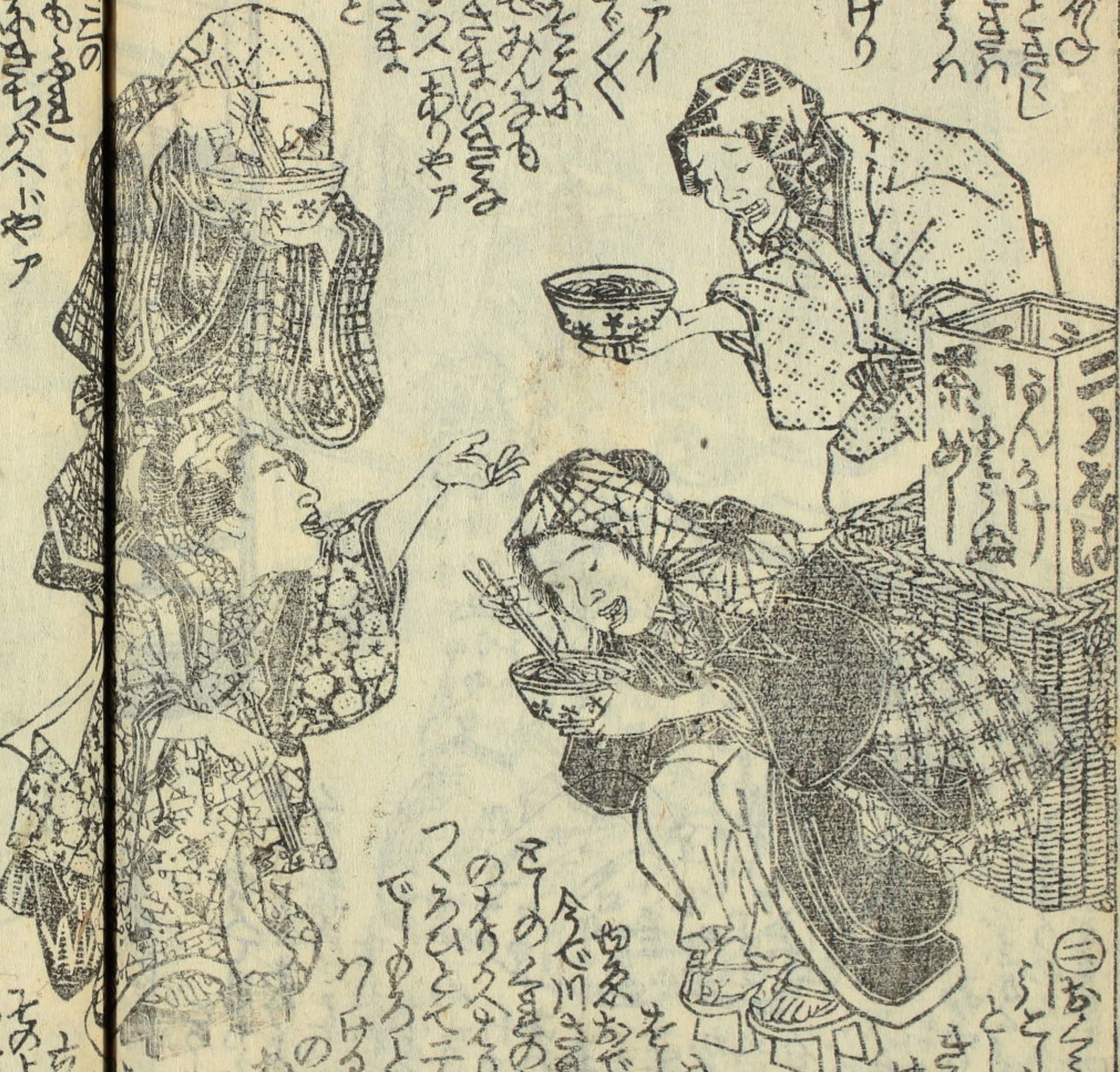
二三日の内
中

男の
お入りの
さへさく

男の
お入りの
さへさく

男の
お入りの
さへさく

二の二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく



二の二

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

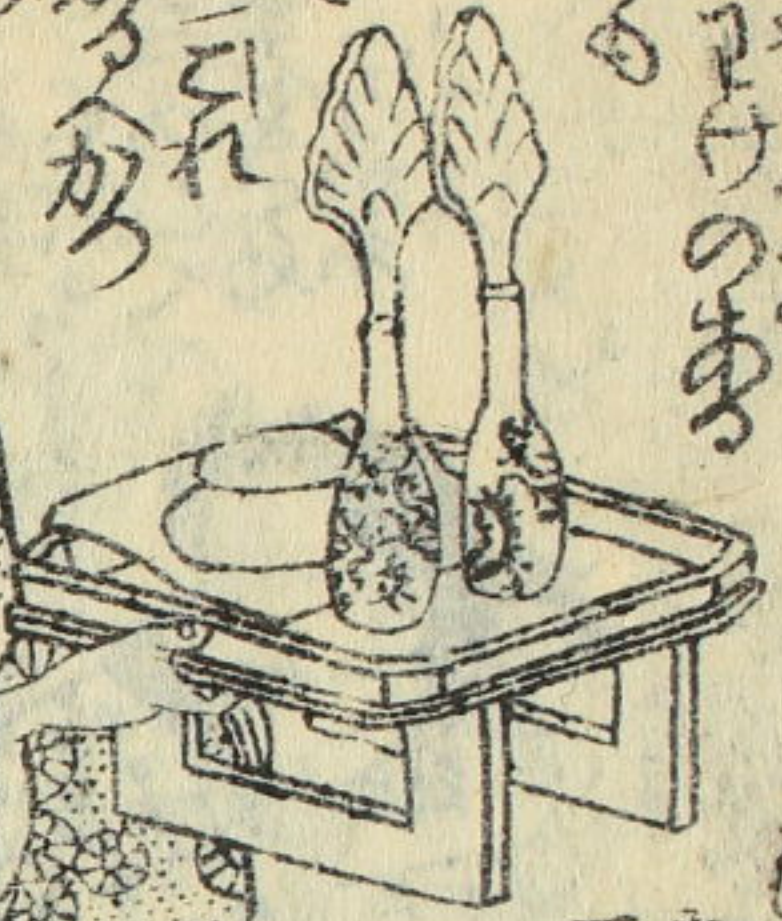
その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

その二
山を下をまわつてけし
ちばねてうらみのく

▲お二でうらやもあつたり
お二と百二のけのあ
百方づゝの
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ



①お二のあつたり
お二と百二のけのあ
百方づゝの
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ

十二日

その二

か
お二
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ



お二



④けの十日日
あつたり
百二のけ
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ

百方づゝの
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ

五

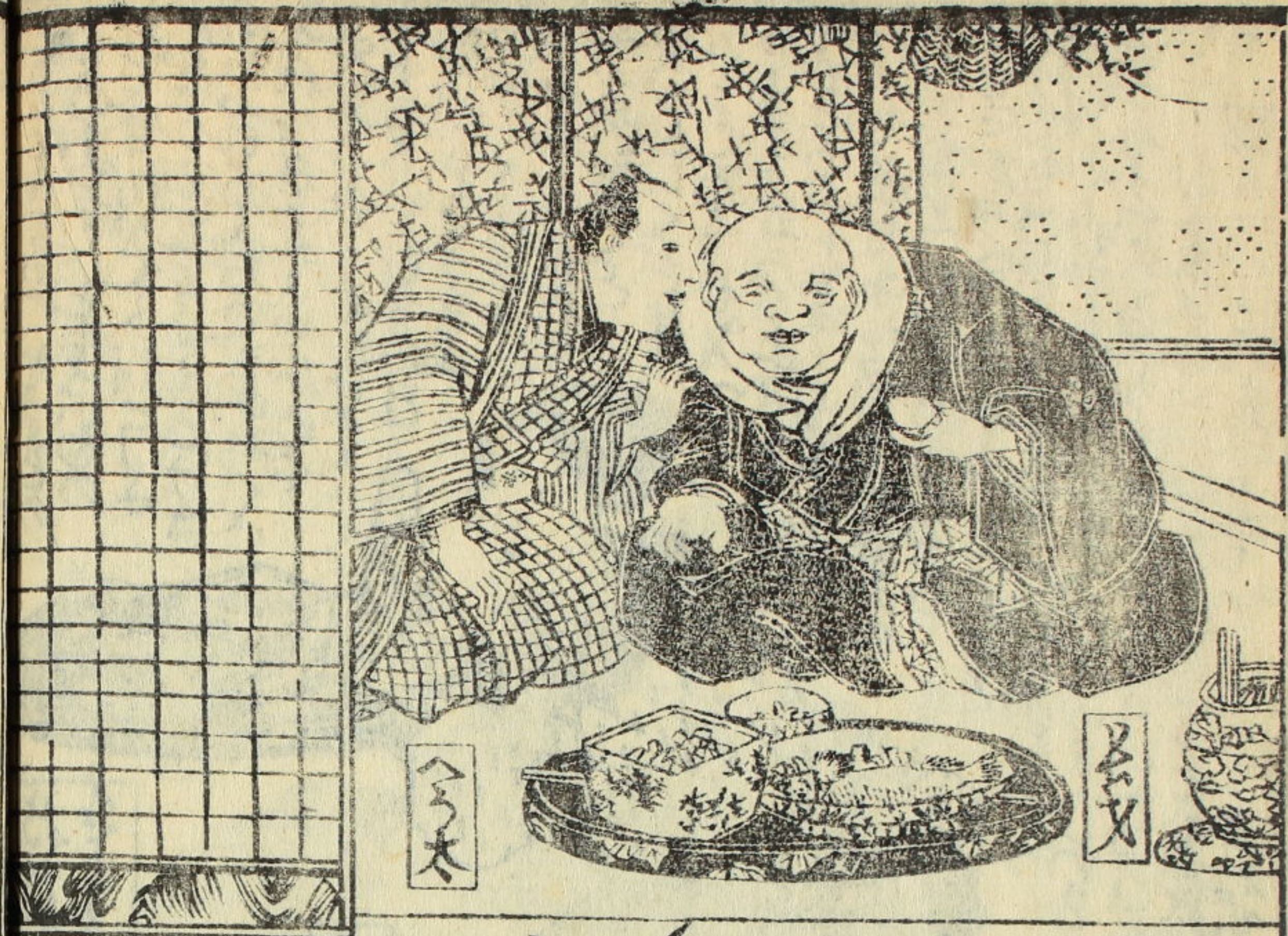
あつたり
百二のけ
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ



うらやもあつたり

うらや

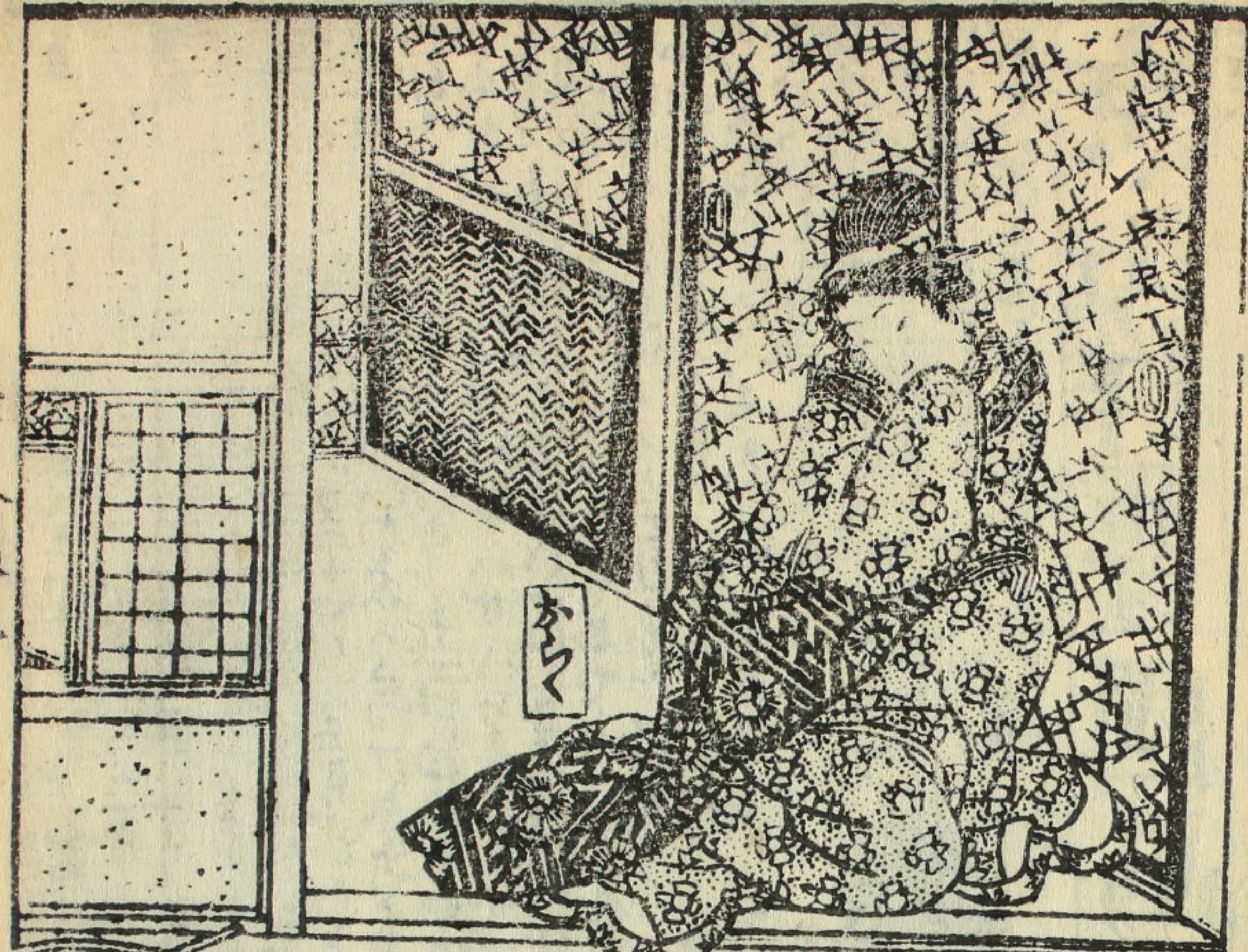
あつたり
百二のけ
あゆてん
されとま
うらやもあつたり
お二のあ



へう太

とんち

八咫 なるやどおへう太の
 おうねおつれ長
 せうえいこのたのまれとる
 じやうくをせけれども
 せうくまはくけくお
 ねあう廿二のうらうら
 かりおこせのせま
 がけとてたのせうたの
 まあありの年がたのうら
 のるがゆいコいへう太け
 といひのふ山でも
 あれはよがるあま
 ありのうらうら
 太公のうらうら
 太公のうらうら
 本ものもあまらるる
 おあまらるる
 むのうらうら
 二まの仲あまらるる
 ねあうとたえくけの
 ロのあまらるる
 ちのあまらるる



かろ

かろ なるやどおへう太の
 おうねおつれ長
 せうえいこのたのまれとる
 じやうくをせけれども
 せうくまはくけくお
 ねあう廿二のうらうら
 かりおこせのせま
 がけとてたのせうたの
 まあありの年がたのうら
 のるがゆいコいへう太け
 といひのふ山でも
 あれはよがるあま
 ありのうらうら
 太公のうらうら
 太公のうらうら
 本ものもあまらるる
 おあまらるる
 むのうらうら
 二まの仲あまらるる
 ねあうとたえくけの
 ロのあまらるる
 ちのあまらるる



あまらるる

その二

金ちまへう大おむひ
かりくちあおひらうの上まの
いこのちあんのんちうていけんの

新入をよきあひれんせうの
ねんをひこたけあふあふにせんこ
るやあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの

②アガールくうん
あんとたてくうん
あんとたてくうん
あんとたてくうん
あんとたてくうん
あんとたてくうん
あんとたてくうん

③アガールのあふひ
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの



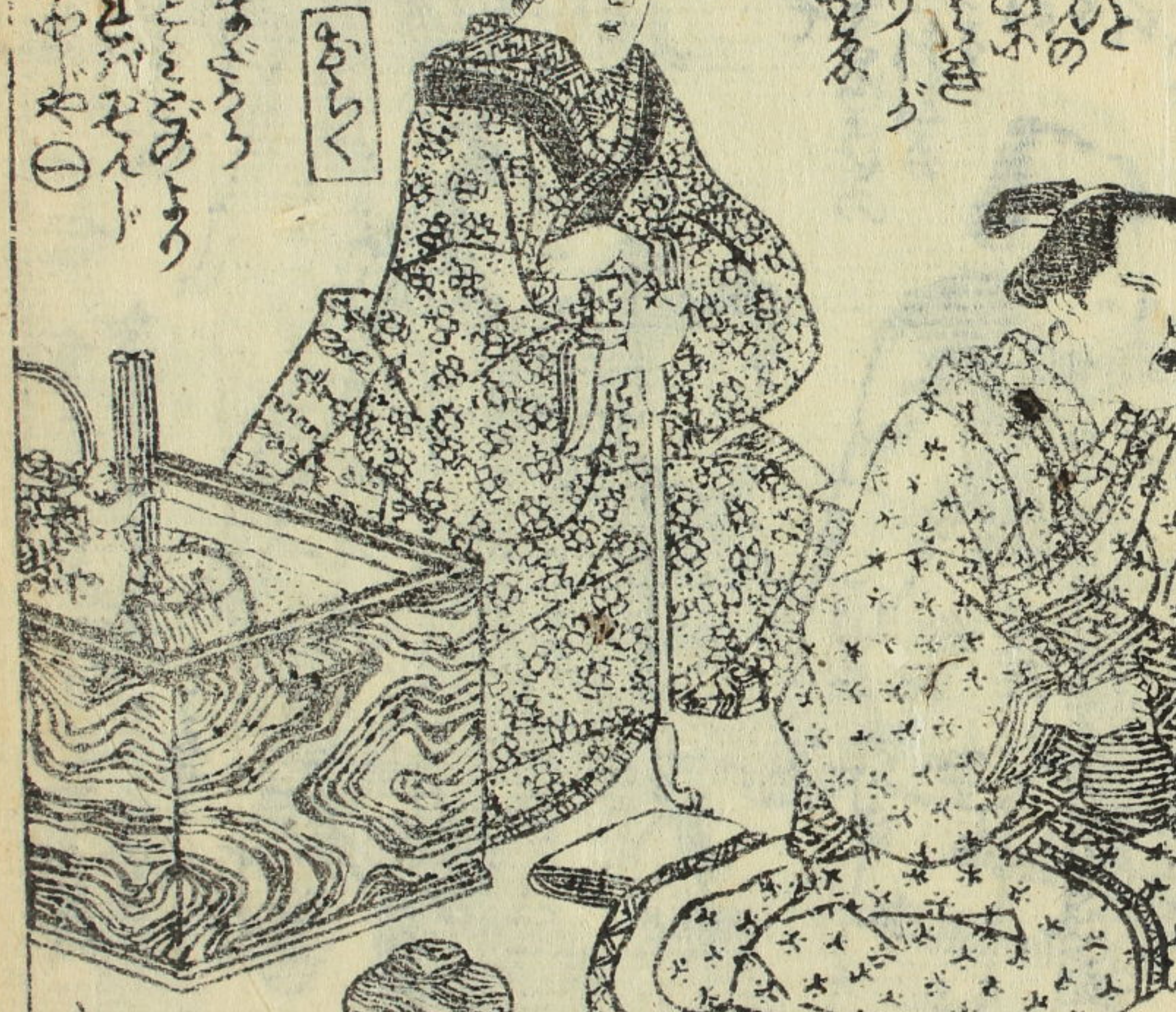
アガール

あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの

あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの

アガール

あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの



あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの
あふひりあふのちうていけんの

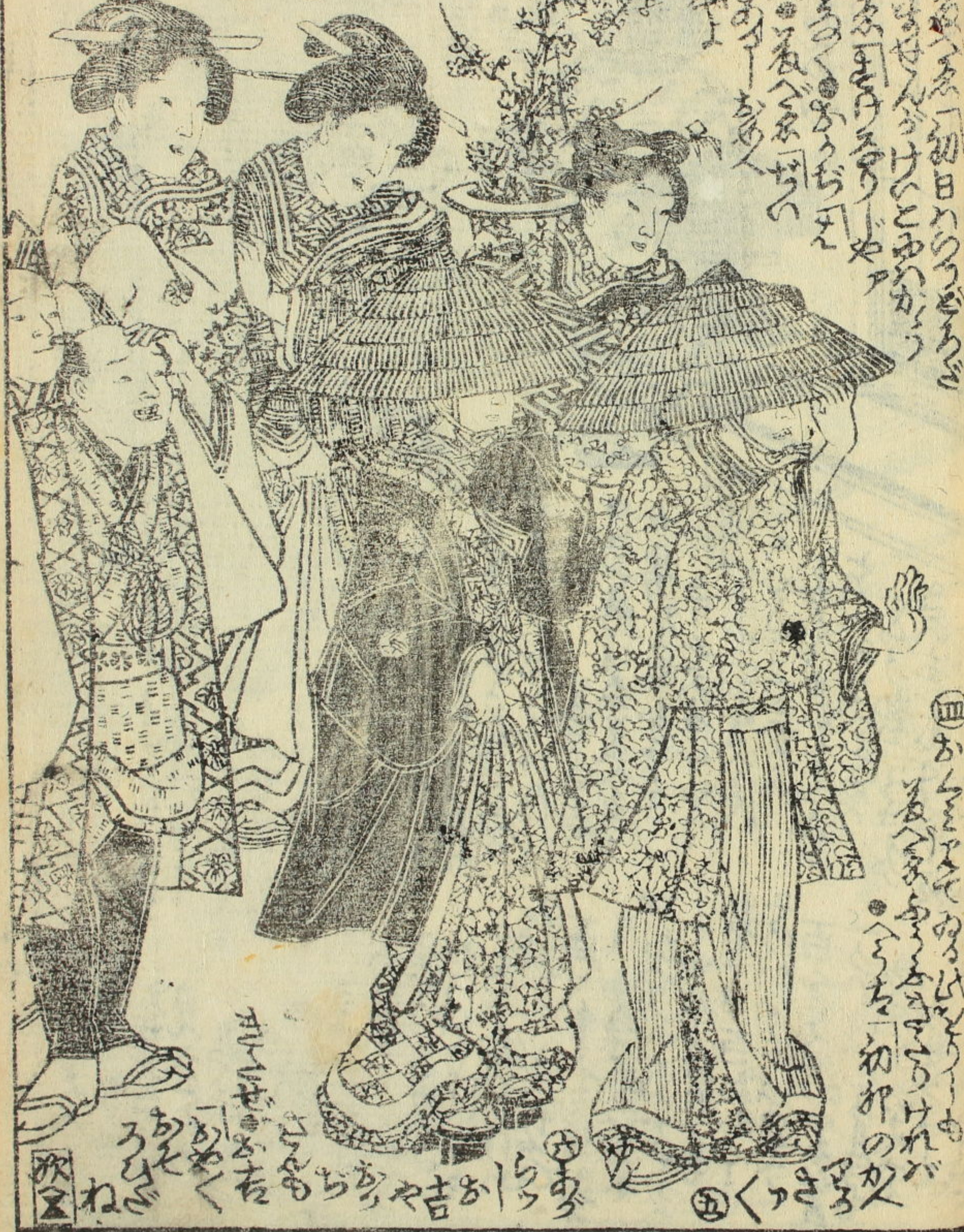
五つは...
六つは...
七つは...
八つは...
九つは...
十は...

十一は...
十二は...
十三は...
十四は...
十五は...
十六は...
十七は...
十八は...
十九は...
二十は...



二十の...
二十一の...
二十二の...
二十三の...
二十四の...
二十五の...
二十六の...
二十七の...
二十八の...
二十九の...
三十の...

三十一の...
三十二の...
三十三の...
三十四の...
三十五の...
三十六の...
三十七の...
三十八の...
三十九の...
四十の...



四十一の...
四十二の...
四十三の...
四十四の...
四十五の...
四十六の...
四十七の...
四十八の...
四十九の...
五十の...

△このくちくちと
△このくちくちと
△このくちくちと



① 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

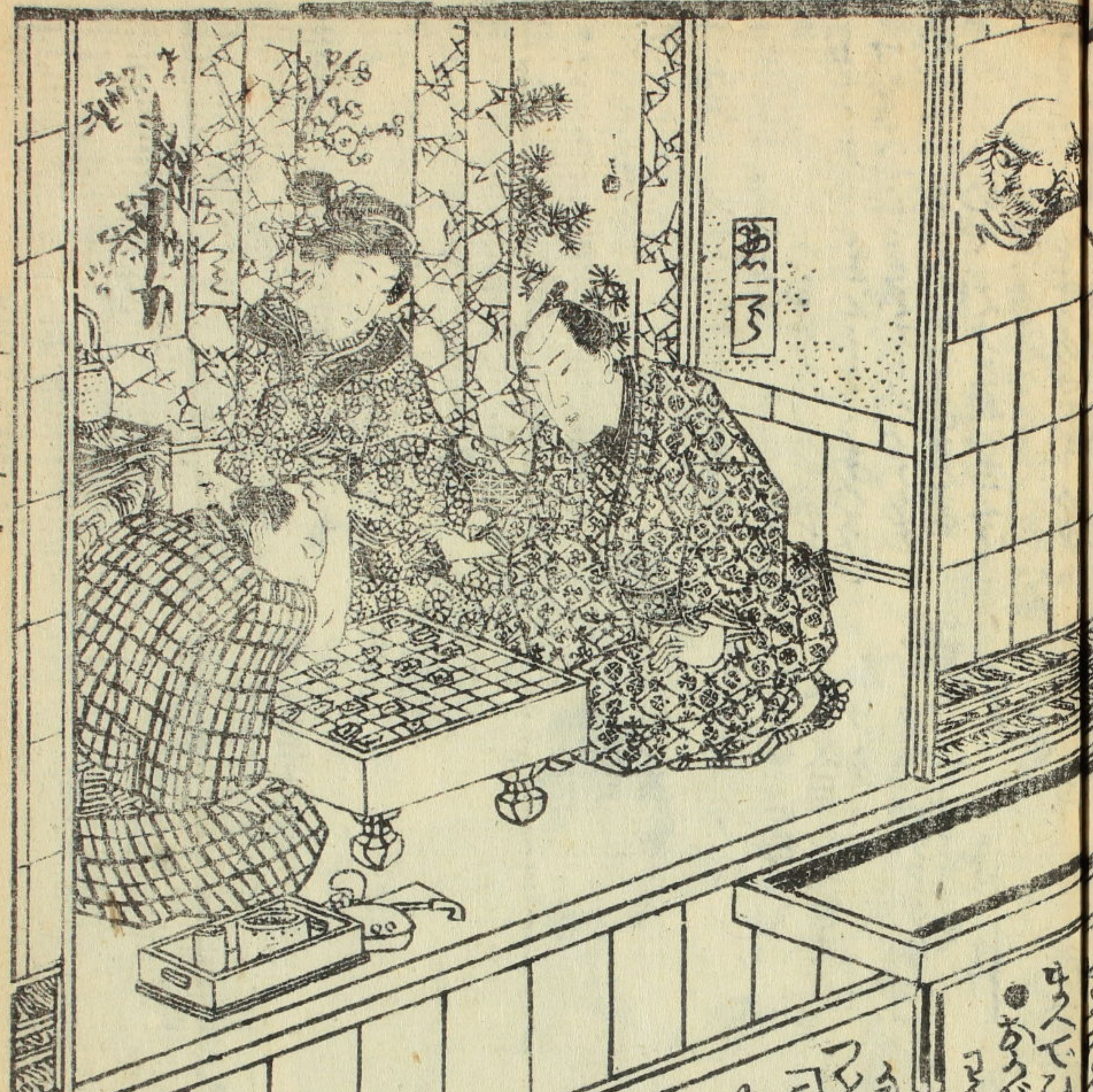
十一

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



●さくさくひるるるるるるる
●さくさくひるるるるるるる
●さくさくひるるるるるるる

④ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



〇〇〇〇

③ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

十二

かくてはあつらひの

①ていへば二ツのふもぢひ

④のちあひまを

かゝるけしきもあらまじりな

②はたはたはなやア

⑤のちあひまを

あつらひのあらまじりな

③はたはたはなやア

⑥のちあひまを

あつらひのあらまじりな

④はたはたはなやア

⑦のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑤はたはたはなやア

⑧のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑥はたはたはなやア

⑨のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑦はたはたはなやア

⑩のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑧はたはたはなやア

⑪のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑨はたはたはなやア

⑫のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑩はたはたはなやア

⑬のちあひまを

あつらひのあらまじりな

⑪はたはたはなやア

⑭のちあひまを

あつらひのあらまじりな

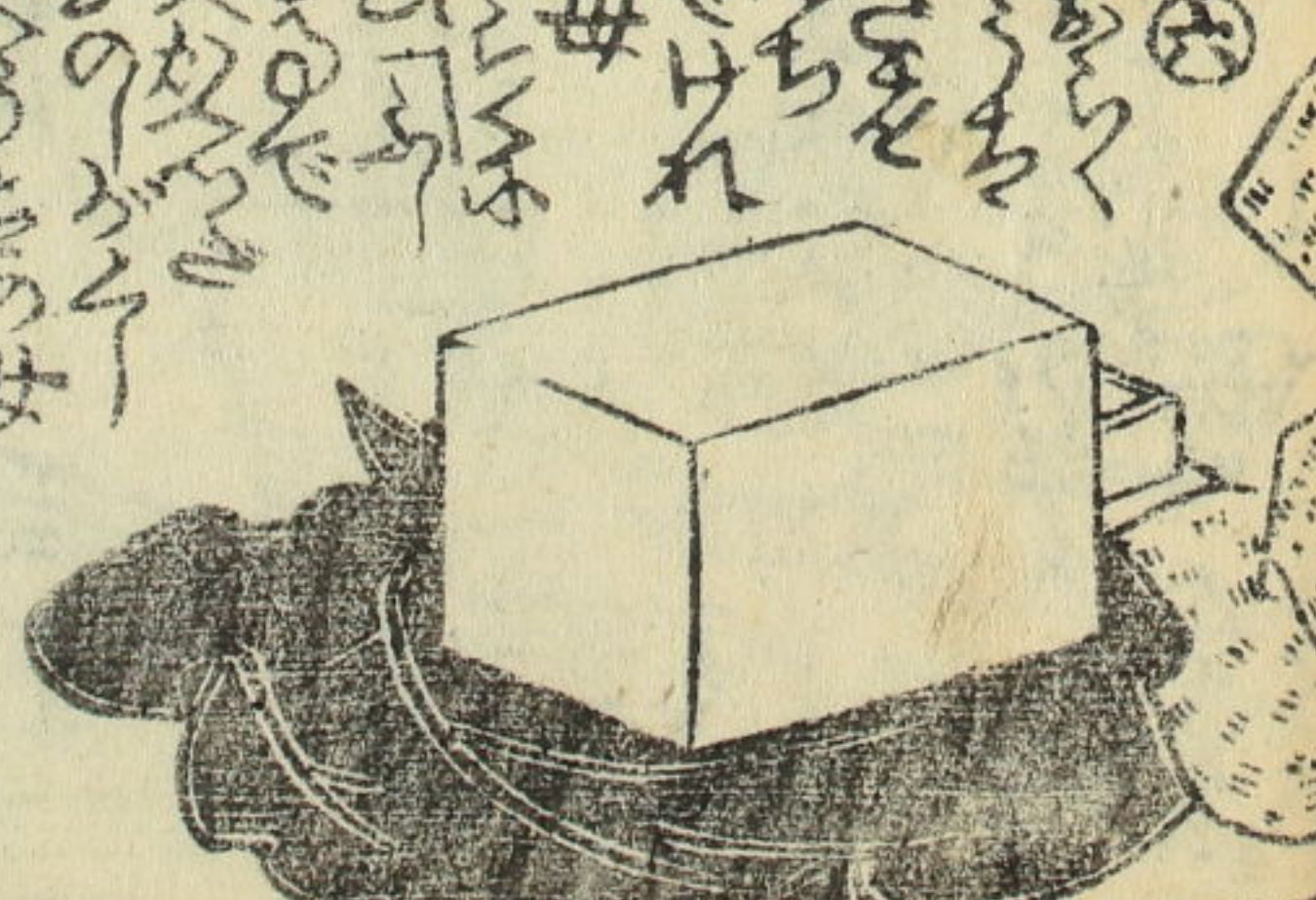
⑫はたはたはなやア

⑮のちあひまを



四

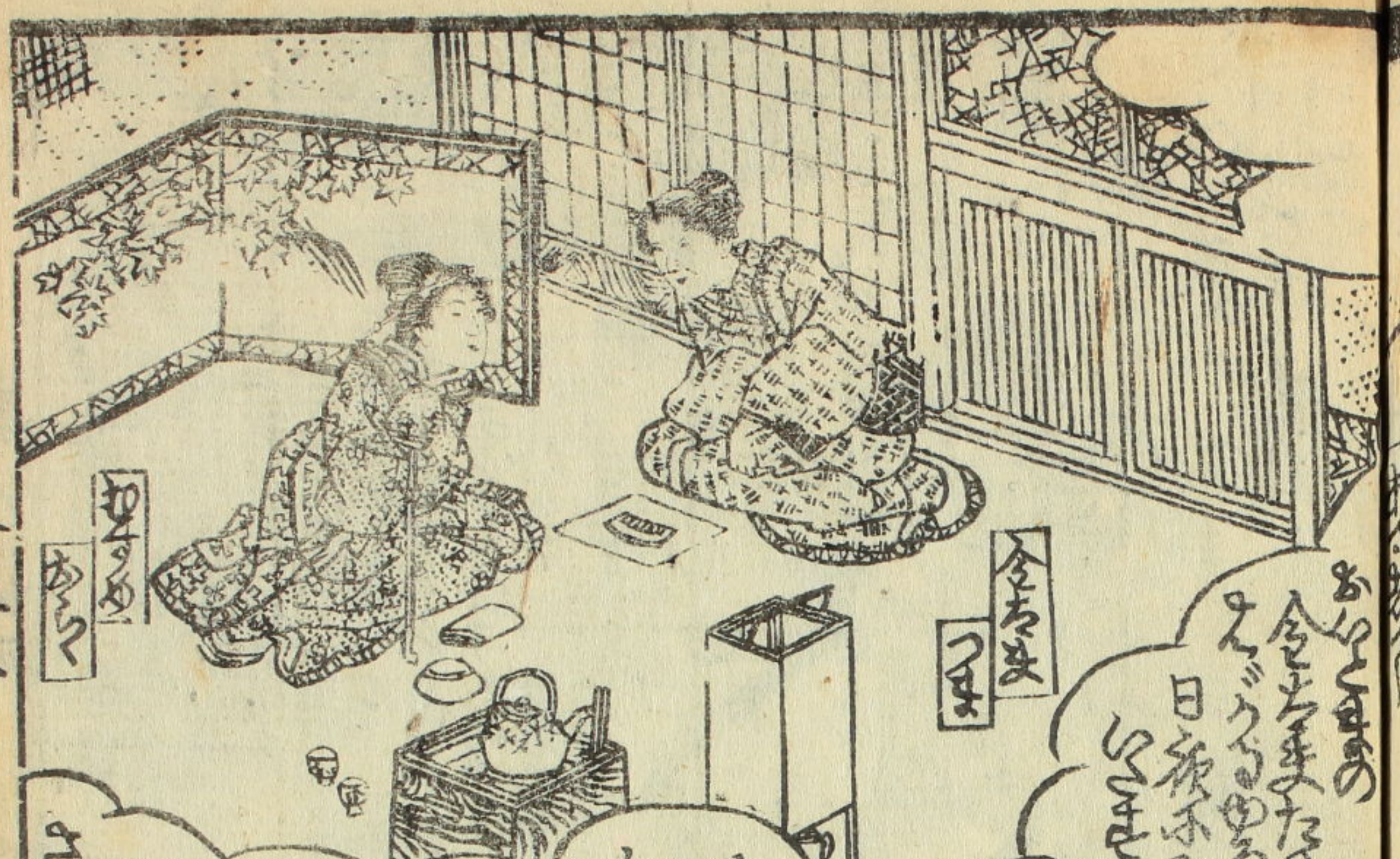
あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを
 あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを
 あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを



あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを
 あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを
 あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを



あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを
 あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを
 あつらひのあらまじりな
 はたはたはなやア
 のちあひまを



おちん
あらく

金おま
つま

あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま

あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま

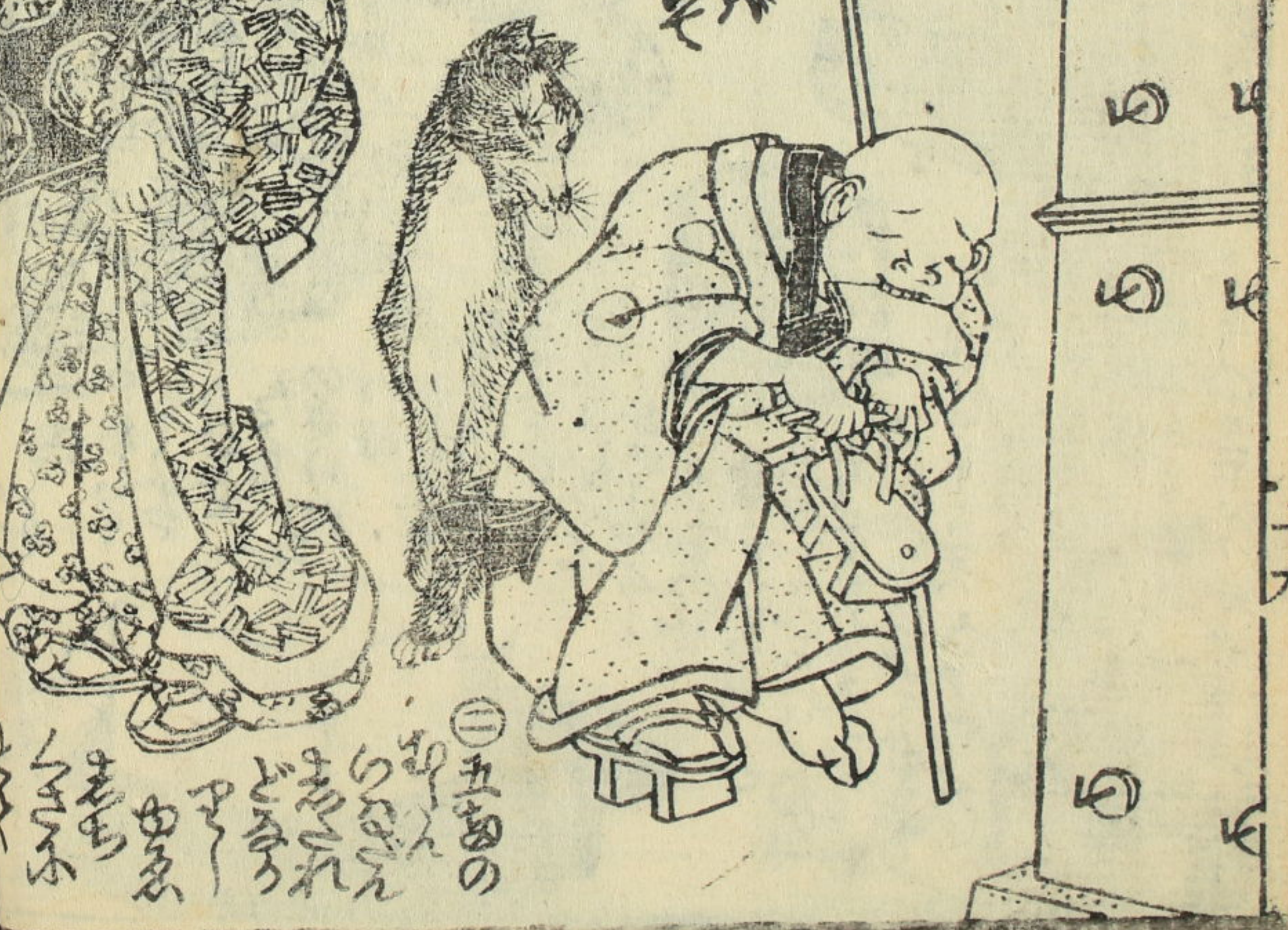
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま

あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま



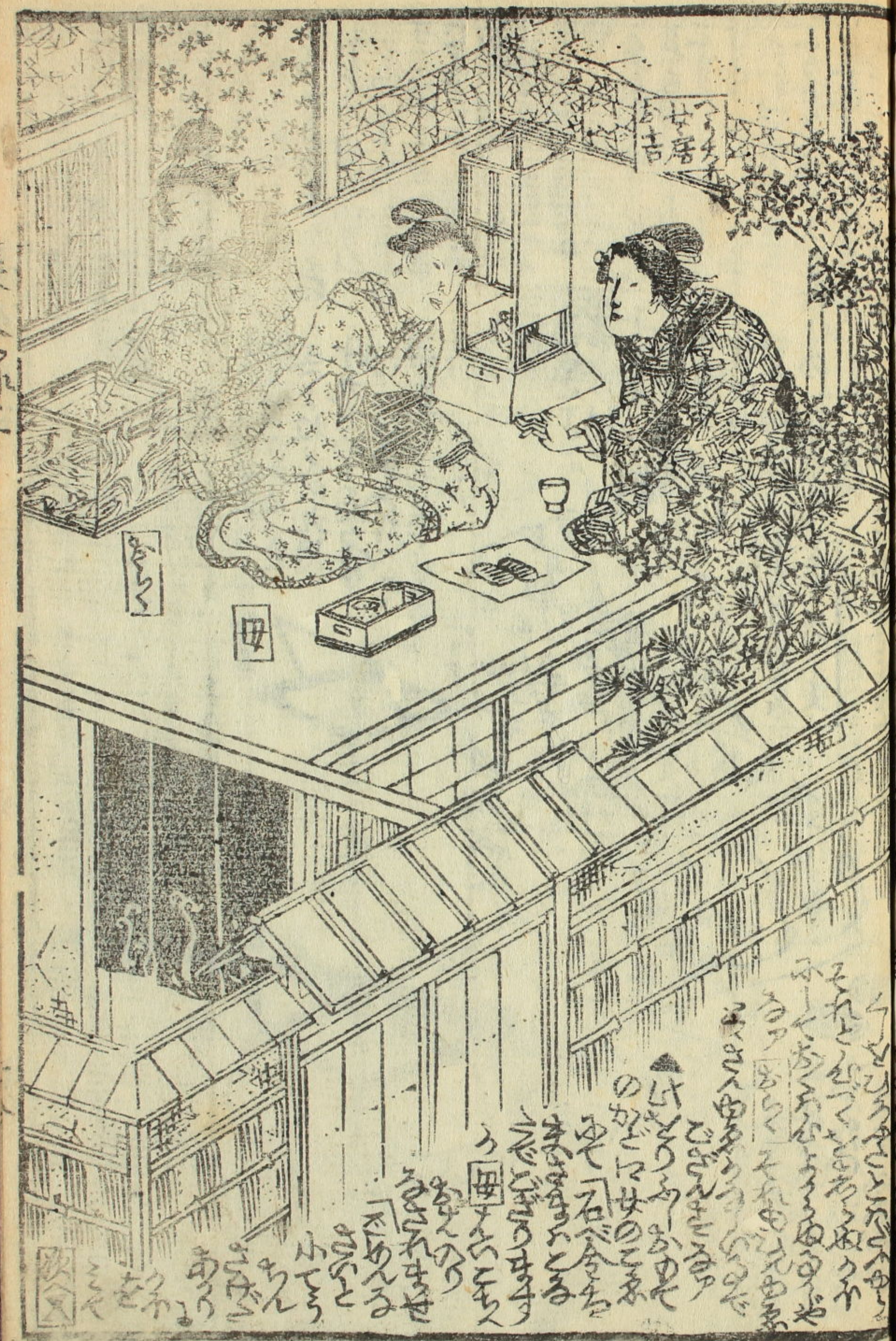
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま

あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま



あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま

あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま
あつちの
金おま
つま



① おまへ人のそでひのしつめを
 このものまじりたつてはしつめを
 おくしつめがののすまひを
 美らちちのめいひを
 うこののめいひを
 のをさのめいひを
 りうふありし金
 百とんとんはがわ
 かさかしたるれど
 かんしてひんくの
 かうまへ人の

金の夫

③ じつちよりのついでに
 あつていふまぢも
 けいひのいふまぢも
 その人あちちの
 女いふまぢも
 内いふまぢも
 おまへのいふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも

金の夫

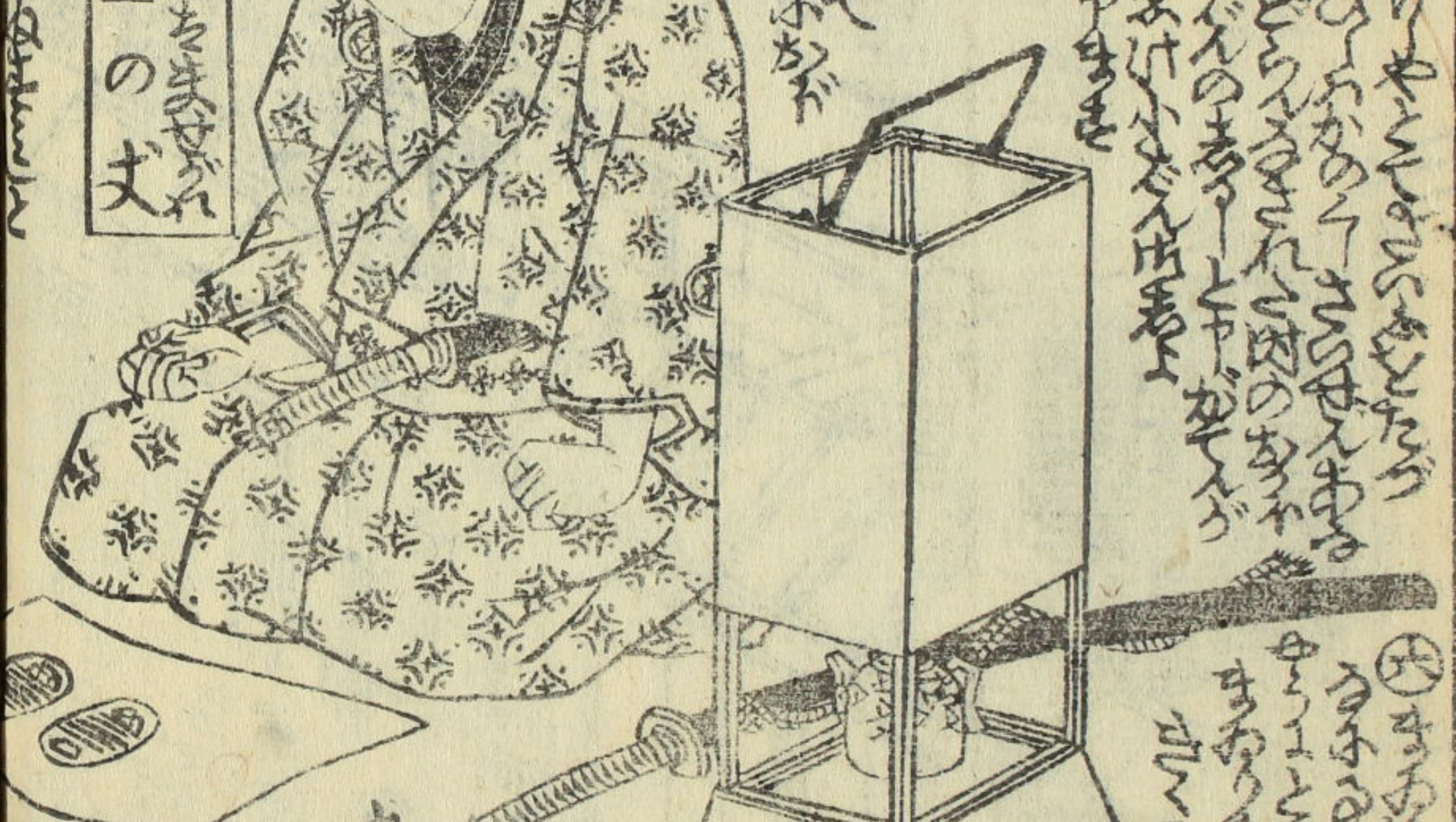
④ じつちよりのついでに
 あつていふまぢも
 金のたつていふまぢも
 おまへのいふまぢも
 内いふまぢも
 おまへのいふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも
 ひふまぢも

【四】このはくちまをさるの
かひくちまをさるは
田舎をまふとちり人の
ちとちり人があつて
くちまをさるは

その二

つう太がつまをさる
かひくちまをさるは
田舎をまふとちり人の
ちとちり人があつて
くちまをさるは

① ちのこひをさるは
きよねんの九月
十九日の下四ツ
ころのちのこひ
母あちちちちちちち
ちのこひをさるは
きよねんの九月
十九日の下四ツ
ころのちのこひ
母あちちちちちちち



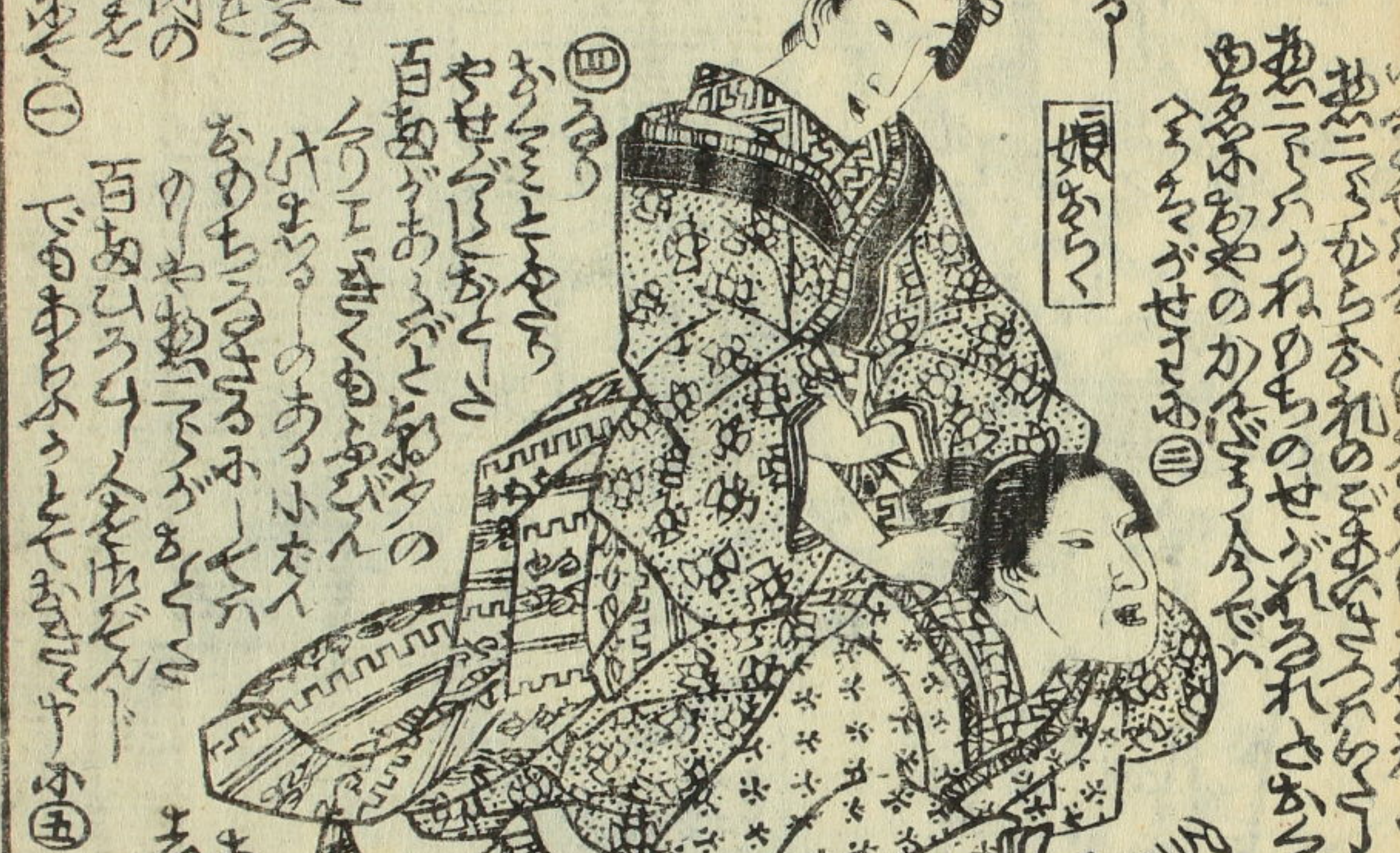
合まませが
金の丈

② まあじのむすむす
ちのこひをさるは
きよねんの九月
十九日の下四ツ
ころのちのこひ
母あちちちちちちち

その三

かちと
母とや
又あつせが
母のこひを
さるは

③ ちのこひをさるは
きよねんの九月
十九日の下四ツ
ころのちのこひ
母あちちちちちちち



娘あつ

④ ちのこひをさるは
きよねんの九月
十九日の下四ツ
ころのちのこひ
母あちちちちちちち

△此の月夜に金太郎の影を
 見ればいかにうつくしき
 △此の月の影をみればいかに
 金太郎の影をみればいかに
 △此の月の影をみればいかに
 金太郎の影をみればいかに



京山作
 豊國画

録三編終
 琴譜美人

石金太夫
 一本の
 えんねすひまわり
 そのうらもはげぬの四入
 小まろしりつてきりりり
 中のめをてい
 かの氏神が
 二下
 くのあそ
 三下
 四下
 五下
 六下
 七下
 八下
 九下
 十下

